

下水道のおサイフ

～下水道事業の財政状況～



目次

1 下水道事業会計とは

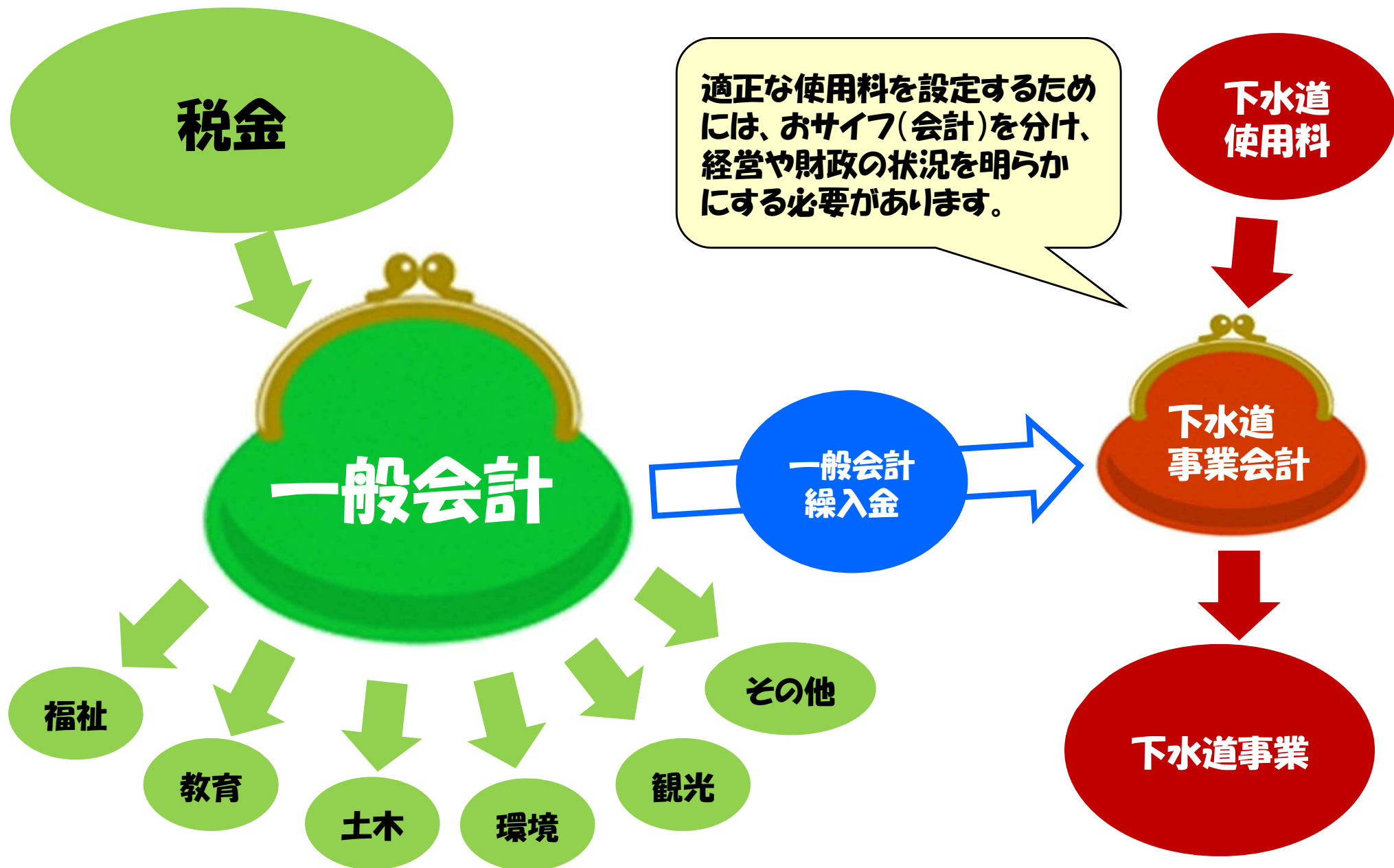
2 下水道事業の財政構造

3 下水道事業の現状と課題

4 課題解決に向けた取組



1 下水道事業会計とは



2 下水道事業の財政構造

雨水公費・汚水私費の原則

【ウツス】

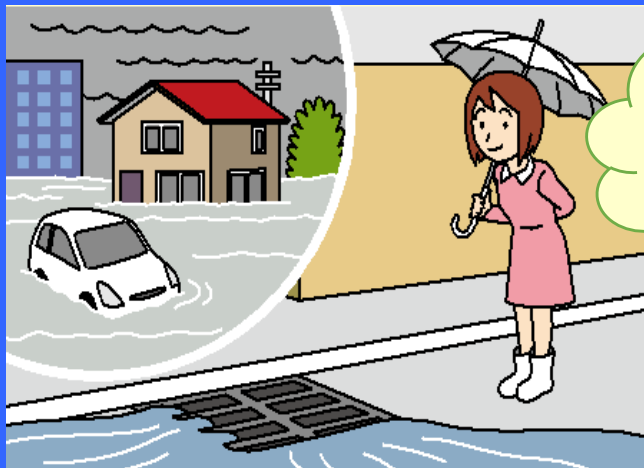


雨水排除

雨水排除による受益者
＝一般市民(自然現象のため)

雨水公費

(一般会計繰入金＝税金)



雨の日の
市民のくらし
を守ります



快適なくらし
と衛生的な
環境をつくり
ます

下水道の役割

費用負担

【オツス】

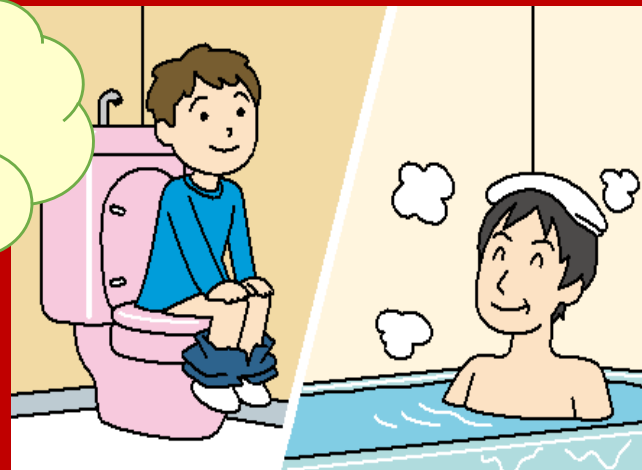


汚水処理

汚水処理による受益者
＝汚水を排出した原因者

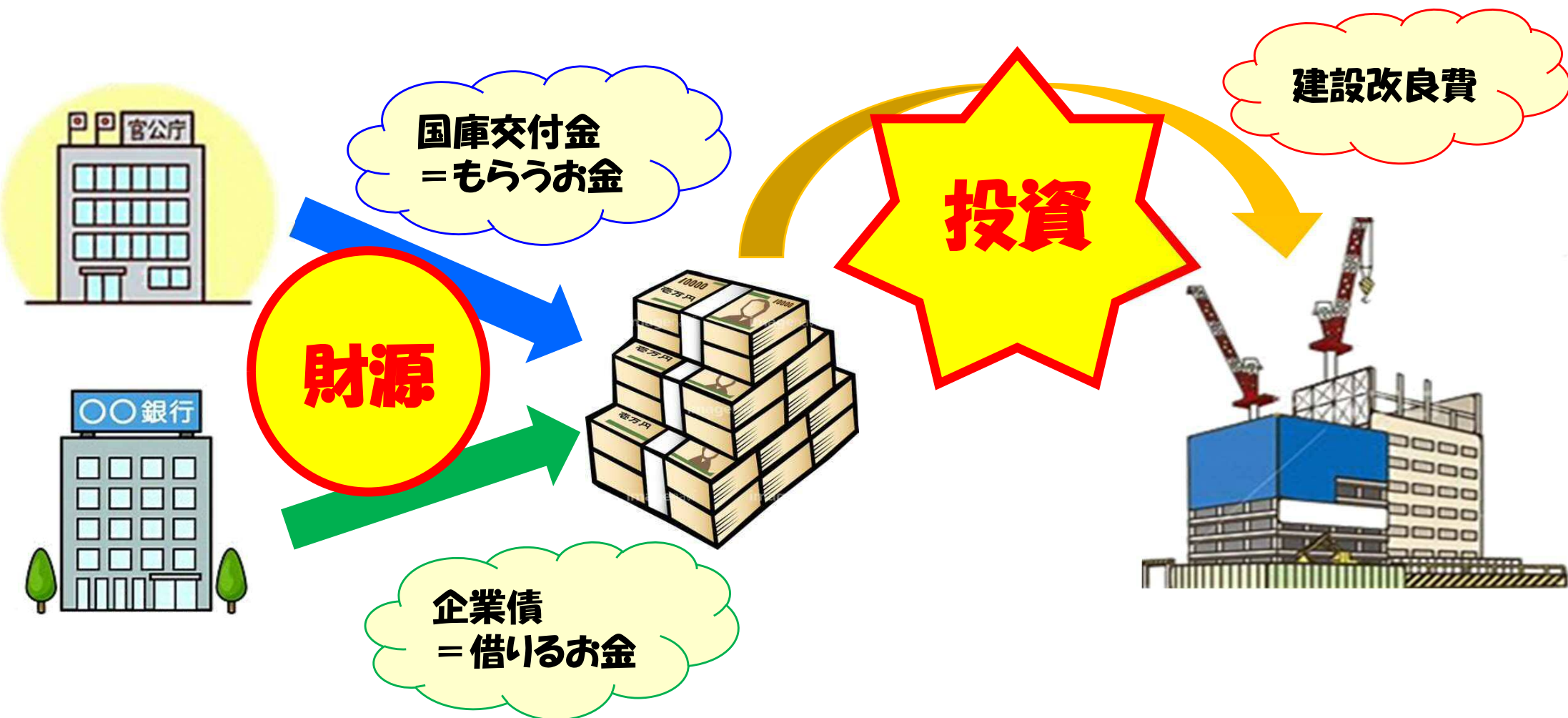
汚水私費

(下水道使用料)



2 下水道事業の財政構造

- 下水事業を行うためには、施設の建設改良(投資)が必要
→この財源は、主に国庫交付金と企業債(借金)で賄う。



2 下水道事業の財政構造

- ・企業債(借金)については、返済が必要
- ・建設改良を行った施設については、維持管理することが必要



これらの財源は、下水道使用料と一般会計繰入金(税金)で賄う。

**企業債
償還金**

雨水排除に
かかった分

汚水処理に
かかった分

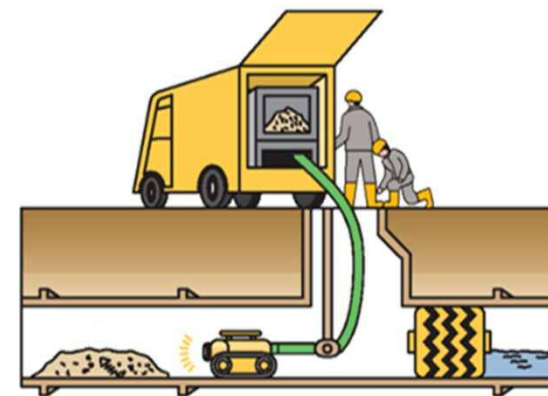
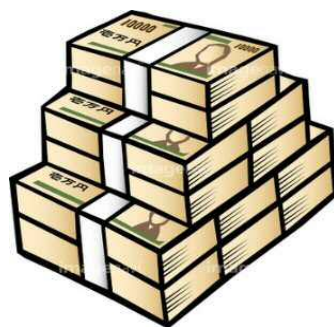
一般会計繰入金
(税金)

下水道使用料

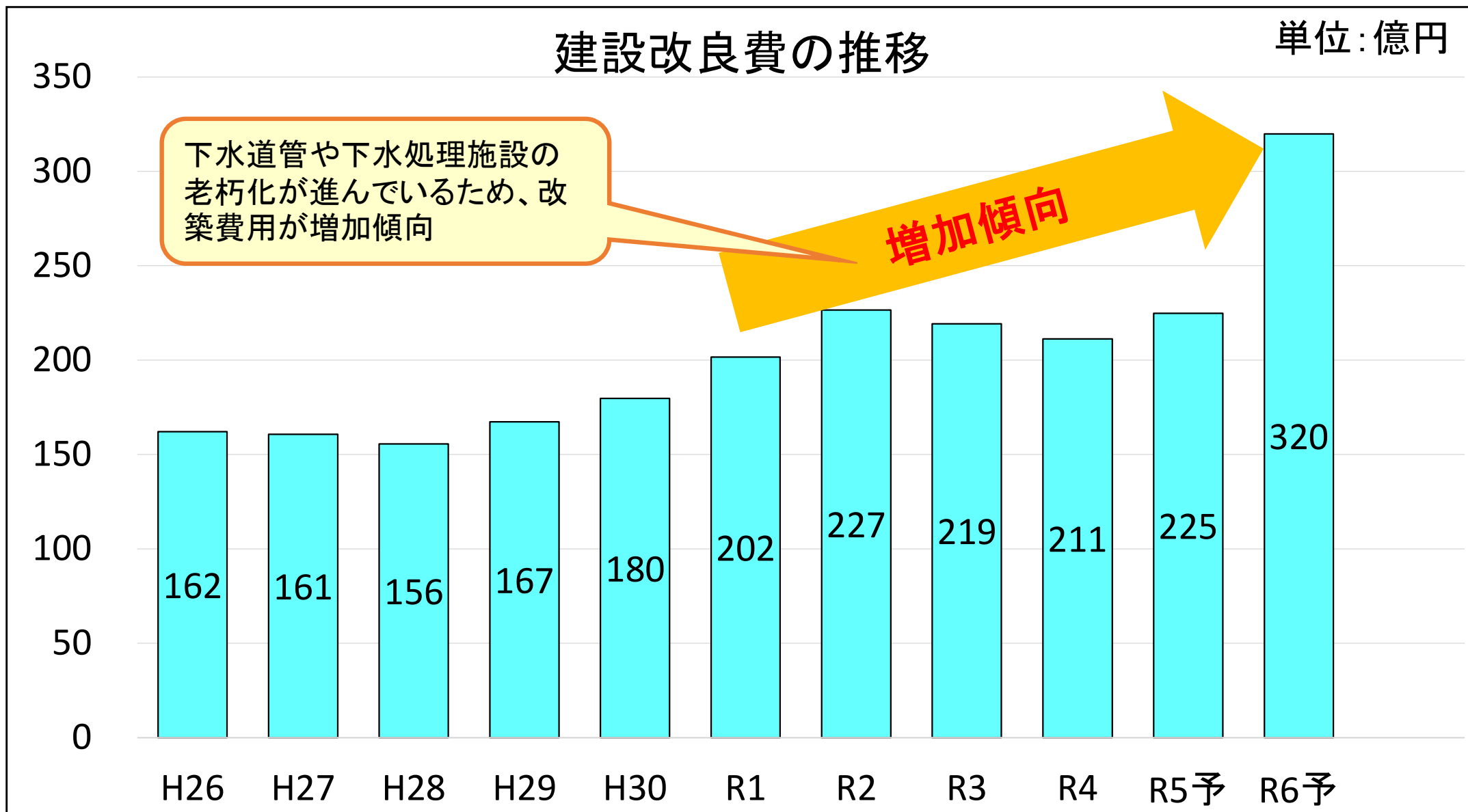
雨水排除に
かかった分

汚水処理に
かかった分

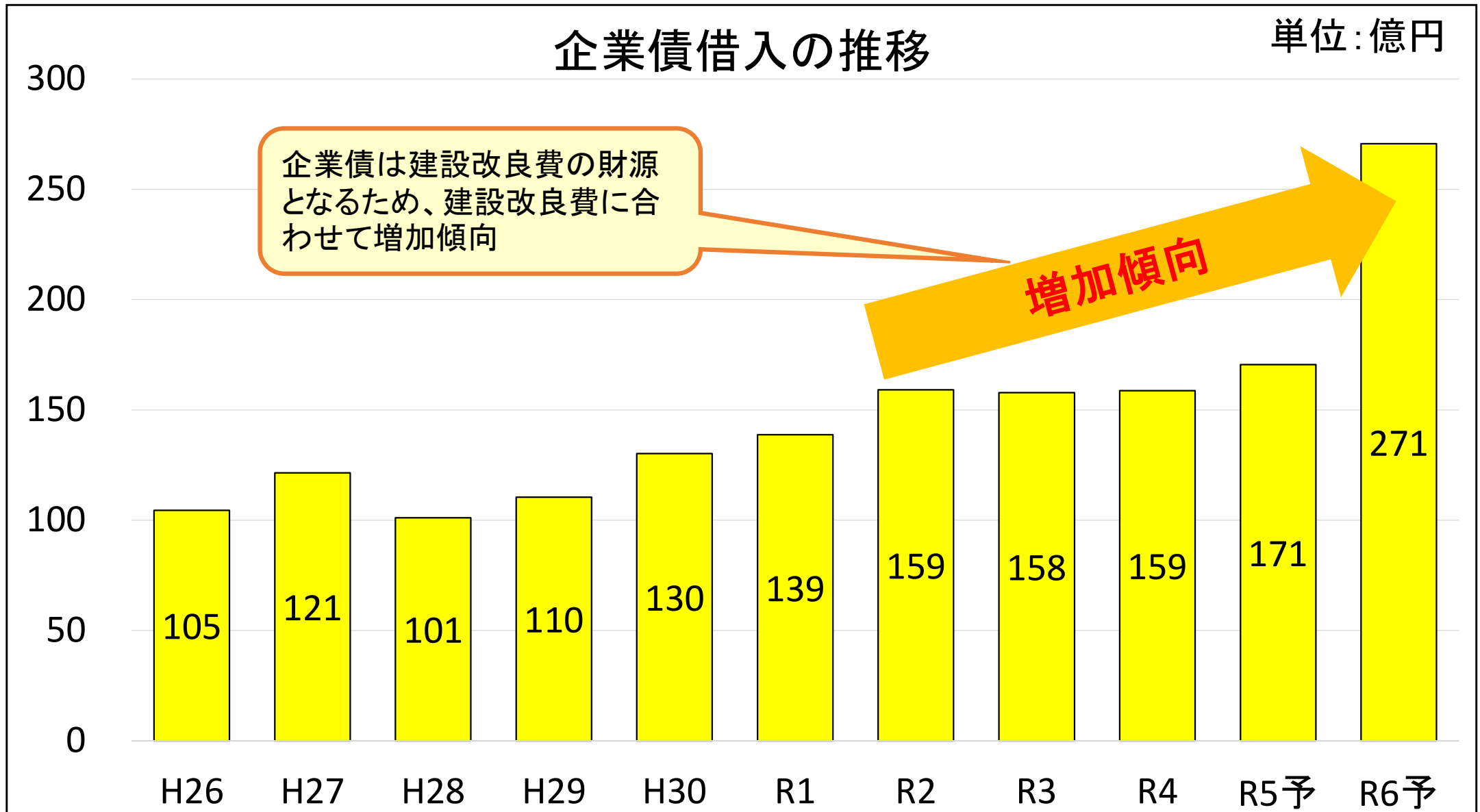
**維持
管理費**



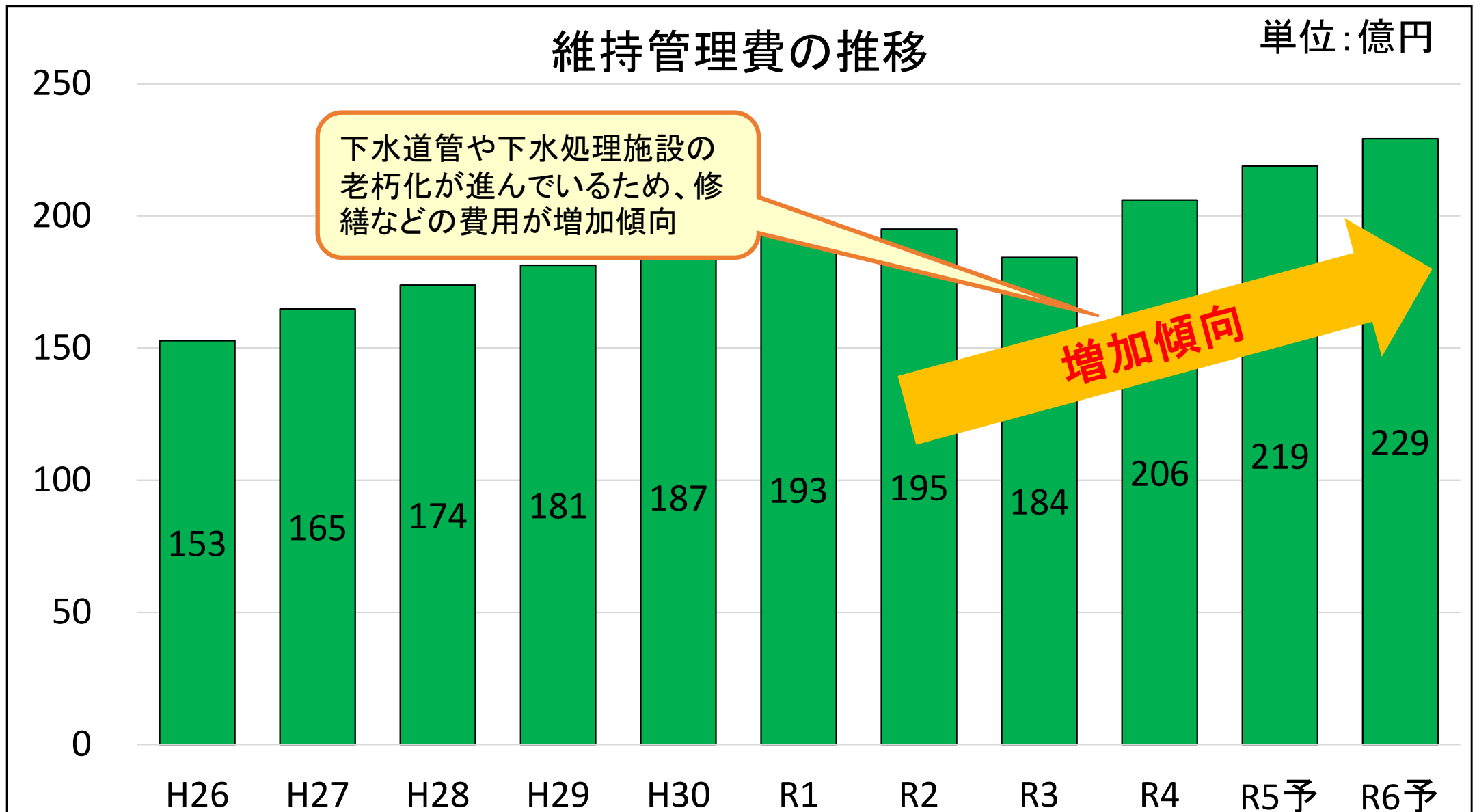
3 下水道事業の現状と課題



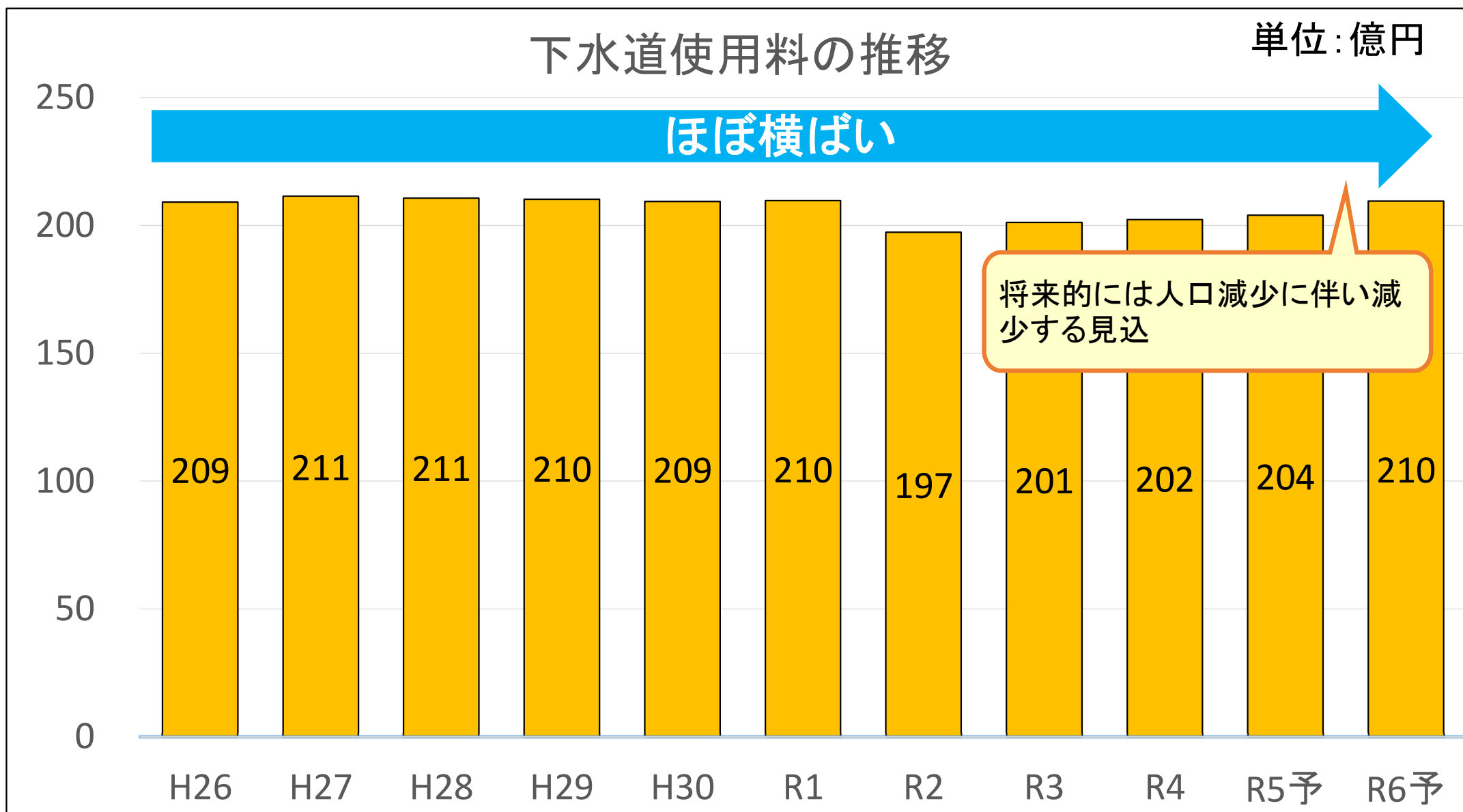
3 下水道事業の現状と課題



3 下水道事業の現状と課題



3 下水道事業の現状と課題



3 下水道事業の現状と課題

- ・建設改良費の増加→財源となる企業債借入の増加
→将来的な**企業債償還金の増加**
- ・**維持管理費の増加**



- ↓
- ・一方で、**企業債償還金**や**維持管理費**の財源となる下水道使用料は、人口減少に伴い、ここ数年のうちに減少に転じる見込みであり、将来的には大きく減少する見通し

- ↓
- ・このため、財政状況は厳しさを増していく見通し

4 課題解決に向けた取り組み

財務体質の強化



コストの縮減

- ・改築基本方針に基づく、計画的な維持管理及び改築の実施
- ・将来の人口減少を見据えた、処理施設の統廃合などによる施設規模の適正化の検討
- ・業務を効率化するための新たな取組の検討

財源の確保

- ・国の交付金制度を積極的に活用するほか、用地など下水道事業が持つ資産の最大限の活用を検討
- ・徹底したコストの縮減や収入を確保する取組などを実施した上で、適正な受益者負担について具体的に検討